

このたびは、お買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
 ■この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。  
 ■お読みになった後は、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

※この「取扱説明書」では、製品を安全にお使いいただくために次の表示でお知らせしています。  
 お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するために必ずお守りください。

**警告** 取扱を誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定されます。

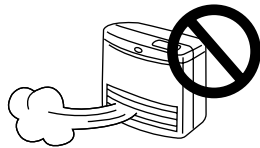
**注意** 取扱を誤った場合、使用者が重傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。

### 警告

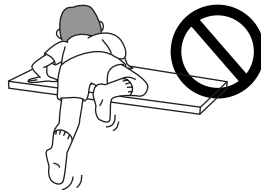
- 絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。破損や思わぬケガの要因となります。



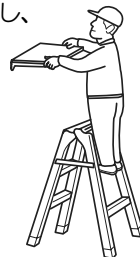
- 本製品の近くにストーブやヒーターなど熱を発するものを置かないでください。火災や製品の変色・変形が発生する可能性があります。



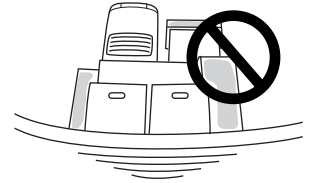
- 絶対に本製品にのぼったり、ぶら下がったりしないでください。破損や落下、転倒によりケガをするおそれがあり非常に危険です。



- 高所の作業を行うときは、必ず脚立や椅子などを使用し、絶対に本製品に足をかけたりしないでください。破損や落下、転倒によりケガをするおそれがあり非常に危険です。



- 絶対に耐荷重以上の荷物は載せないでください。破損や落下の原因となります。

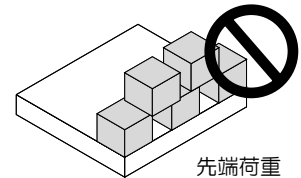


耐荷重(1セットあたり)

TP(木棚+パイプ)/TS(木棚)セット	35kg
BP(パイプ)/WP(パイプ2本)セット	25kg
MT(シューズ用木棚)セット	10kg
VT(シューズ用樹脂棚)セット	6kg

※耐荷重の数値は目安であり保証値ではありません。  
 ※耐荷重の範囲内で壁とスリットの間に隙間が生じる場合がありますが、製品上問題はありません。  
 ※安全のため、収納1カ所当たり、棚枚数に関係なく総重量150kg以内でご使用ください。

- 絶対に本製品の先端部に集中して荷物を置いたり、寄りかかったり、手をついたりしないでください。破損や落下によりケガをするおそれがあり非常に危険です。

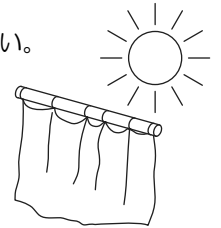


### 注意

- 本製品は屋内用収納製品です。屋外や水廻りでは使用しないでください。



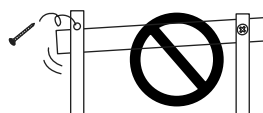
- 本製品に強い日差しが当たる場合は、カーテンやブラインドなどで日差しが当たらないようご配慮ください。日差しにより急激に乾燥した場合、製品の表面割れや変色・変形が発生する可能性があります。




- 本製品にテープなどの粘着系のものを使用しないでください。表面化粧がはがれます。

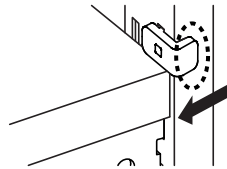


- ねじの緩みがないか定期的に点検してください。



# 棚板/パイプ移動方法

1. FKスリットに付いている落下防止ストッパーの  部分を  
手前に引っ張って取り外してください。

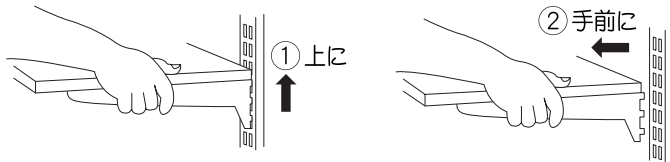


## 注意

棚板/パイプの移動時は、収納物を  
全ておろしてから行ってください。  
収納物が落下して、床の損傷や  
ケガをするおそれがあります。

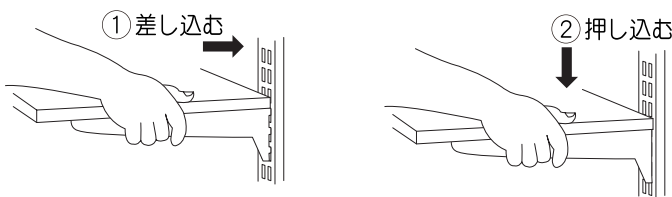
2. 棚板を移動する場合は、棚板とブラケット(腕木)を固定しているねじを手回しドライバーで緩めてください。

3. 棚板/パイプとブラケット(腕木)と一緒に両手で持ち、FKスリットの穴にあたるまで持ち上げてから  
手前に引いて、FKスリットから棚板/パイプを外してください。



4. 棚板/パイプとブラケット(腕木)と一緒に両手で持ち、移動させたい位置のFKスリットの穴に差し込んでから  
下へ押し込んで、FKスリットに棚板/パイプを取り付けてください。

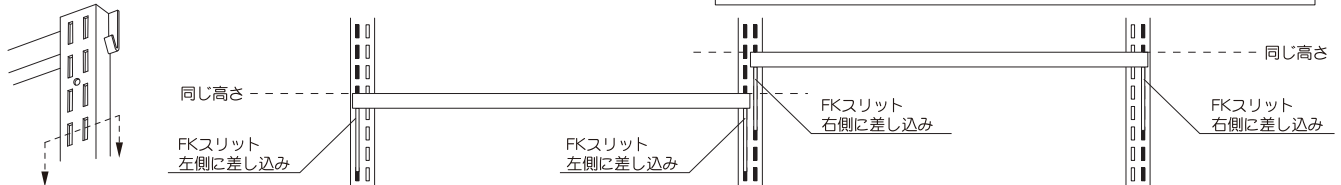
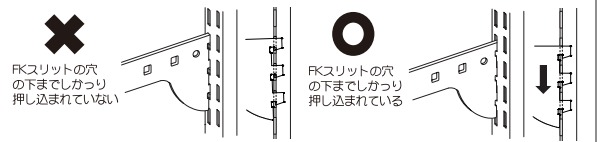
取り付け後、**FKスリットにブラケット(腕木)が確実にハマっているか確認してください。**



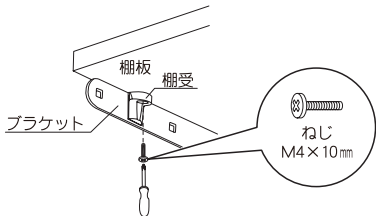
(ブラケット差し込み位置)  
ブラケットは最上部から4つ目の  
穴からしか取り付けできません。

## 注意

ブラケットは正しい位置に確実に取り付けてください。  
取り付けが不十分な場合、棚板が脱落します。



5. 棚板の場合は移動完了後、手順2で緩めた棚板のねじを手回しドライバーで締め付けて固定してください。



## 注意

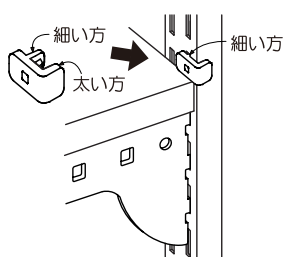
ねじを締め付ける際は、必ず手回しドライバーを使用してください。  
電動ドライバー等で締め付けすぎると、棚板及び棚板の鬼目ナットが破損して棚板が脱落します。

※ブラケットは手前に向かって1° 上がっているため、L型・U型で設置した隣りに並んだ棚板は平行になりません。

6. FKスリットに落下防止ストッパーの細い方を差し込んで取り付けてください。

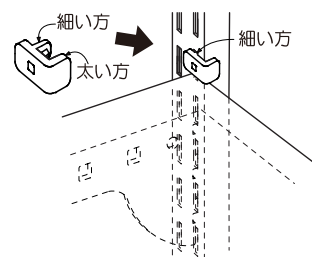
### ■両端のFKスリット

※太い方が棚板の外側に  
くるように差し込みます。



### ■中間のFKスリットの場合

※太い方が棚板の内側に  
くるように差し込みます。



## お手入れ方法

- はたきかけをするか、乾いたやわらかい布でカラ拭きしてください。
- ほこりがたまったときは、はたきではらった後、かたく絞った濡れぞうきんで拭きとってください。
- 水がかからないようご注意ください。水がかかった場合は放置せず、すぐに拭きとってください。
- ベンジン・アルコール・シンナー等の溶剤、塩素系・過酸化水素系・酸・アルカリ性の洗剤を使用しないでください。
- タワシ、歯ブラシ、合成不織布で研磨剤を複合したもの、紙ヤスリ、スチールウールなど硬いものでこすらないでください。



株式会社 藤山

〒577-0013 東大阪市長田中 3-1-17  
TEL (06)-4309-0515 (平日10:00~17:00)  
FAX (06)-6748-2168  
e-mail eff@fujiyama21.co.jp  
<http://www.fitrack.jp/>